

| | | | | | | | | | |
|--|------------|---|--------|--------|----------------|------|-----------------|------|-----|
| 科目ナンバリング | | U-LAS03 10003 SB48 | | | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | | 外国文献研究(文・英) B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)B-E1 | | | 担当者所属 職名・氏名 | | 文学研究科 准教授 田中 紀行 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | | 分野(分類) | 外国文献研究 | | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習(対面授業科目) | | |
| 開講年度・ 開講期 | 2025・後期 | | 曜時限 | 水3 | | 配当学年 | 2回生以上 | 対象学生 | 文系向 |
| 【授業の概要・目的】 | | | | | | | | | |
| <p>社会科学系の英語文献を読むための基礎的なスキルを身につけることを目的とし、そのために最も重要な古典的社会学者の一人であるマックス・ヴェーバーの入門書を読む。テキストはイギリスの社会学者によって書かれたもので、ヴェーバーの生涯と主要な業績を簡潔に概説している。</p> <p>ヴェーバーは「合理化」の観点から世界の諸文明の比較歴史社会学的研究を行ったことで知られており、その学問的業績は狭義の社会学にとどまらず法学・政治学・経済学・宗教学等の幅広い分野にわたっているが、授業では主としてヴェーバーの社会科学方法論・宗教社会学・比較歴史社会学を扱った章を取り上げる。</p> | | | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | | | |
| 社会科学系の英語文献を迅速かつ正確に読解し重要なポイントを理解する能力を身につける。あわせてマックス・ヴェーバーの社会学的業績についての基礎知識を身につける。 | | | | | | | | | |
| 【授業計画と内容】 | | | | | | | | | |
| 1回につき8~9ページ程度、テキストの逐語訳ではなく要約という形で読み進める。1回につき3名程度の担当者をあらかじめ決めておき、担当箇所のレジюмеを作成・配布してもらう。レジюмеにはテキストの段落ごとの要約とともに用語・人名等についての注釈も入れる。担当者がレジюмеに基づいて報告した後、教員による補足説明と内容に関するディスカッションを行う。 | | | | | | | | | |
| <p>第1回： オリエンテーション</p> <p>第2回： 第1章 (Max Weber in Context)</p> <p>第3回~第4回： 第2章 (Weber: Life, Career, and Politics)</p> <p>第5回~第6回： 第4章 (A Methodology for the Social Sciences)</p> <p>第7回~第8回： 第5章 (Religion, Spirit, and Modern Capitalism)</p> <p>第9回~第12回： 第6章 (Comparative and Historical Explanations)</p> <p>第13回~第14回： 第7章 (Economic Ethics of the World Religions)</p> <p>《期末試験》</p> <p>第15回： フィードバック</p> <p>1回分のテキストの分量をできるだけ均等にするため、毎回読み進める範囲は必ずしも章の区切りと一致しない。上記のスケジュールは大まかな予定である。</p> | | | | | | | | | |
| 【履修要件】 | | | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | | | |
| 【成績評価の方法・観点】 | | | | | | | | | |
| 平常点(報告レジюме)と期末試験の成績を50%ずつとする。 | | | | | | | | | |
| ----- 外国文献研究(文・英) B-E1(2)へ続く ----- | | | | | | | | | |

外国文献研究(文・英) B-E1(2)

[教科書]

John Scott 『The Emerald Guide to Max Weber』 (Emerald Publishing) ISBN:978-1-78769-192-6 (授業で読む章のコピーを配布する。)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

報告者以外の受講者も全員テキストの該当箇所を読んで予習してくることが求められる。

[その他(オフィスアワー等)]

履修定員を45名とし、履修人数制限を行う。
なお、履修希望者が人数制限を超過した場合は、以下の条件順で優先的に履修を認める。その上で、超過したところで抽選を実施し、履修を許可する。

1. 文学部の4回生(所属系は問わない。)
2. 文学部行動・環境文化学系の2・3回生
3. 上記系以外の文学部2・3回生
4. 文学部以外の学生